

南山 女岩

フリークライミング

2022年06月12日(日)

参加者：坂野、宮本、杉浦、カワセミ、桐林 (記)

浜松を6時過ぎに出発。前日の雨と翌日の天気が悪い三ツ峠はパス。サブの南山へ行った。下道を使い、9時前に到着。すでにトイレ前の駐車場は、あと一台という混み具合。男岩に人がわんさか。女岩へ少し早歩きで坂野Lと桐林は向かった。

先着は2パーティおり、大学生と先生、2人組がいた。まずは空いている左IIルートを坂野Lがリード。次に桐林がTRで登り、順々に登った。Vは無さそうで、IVに近い。TRでカワセミがバンド・ルートで粘り、課題をクリア。その間に桐林が、左Iルートのリード。人生2回目。ボルトに誘われ、流れが悪いライン取りとなった。途中で、クライムダウンしながら、ヌンチャク回収。

午後近くより、ダイレクト・ルートを坂野LがTPを張ってくださり、順々に登る。フィンガーを使い、足を信じて登り上げる。桐林が苦労していたところを、他の人たちはスイスイ登っていた。

坂野Lの「リードで落ちてみれば」の一声に、やってみるかバンド・ルートのリードを桐林が試みた。内心皆んなできないだろうと思っていたところを、意地で何とか完登。ヌンチャク回収時にボルトが緩んでいるのを発見し、チェックする習慣づけが必要だなと思った。ちょっとずつできる範囲が広がってきて、充実したクラミングだった。カワセ

ミ・杉浦共に左Iルートのリード練習。

その後、粘りの宮本氏のリード、バンド・ルート。前回からの課題。何度も引き剥がされていた。ガンバの声にあと一步、あと一跨ぎのところであえなくリタイア。1時間ほど岩にかじり付いてトライ&トライ&トライはさすが。

日が暮れ始めてから、名古屋から来た夫婦の方についてということ、ヌンチャクを回収していただいた。スムーズに動いている様子をまざまざ見せつけられた。うまい。こうなりたい。

今回のルート

- ・左IIルート V
- ・左Iルート III+
- ・ダイレクト・ルート V
- ・バンド・ルート V

